



採用校に
聞きました！

デジタル教科書導入・活用

東奔西走記

Vol.11

Final

鳳凰高等学校 看護学科統括部長 大江 伸吾



鹿児島県の鳳凰高等学校の大江と申します。デジタル看護教科書®の採用校という立場から、今回はデジタル教科書を使い始めて見えてきた今後の課題などについてご紹介します。

生徒の利用における課題について

導入から3年が経過し、生徒たちは操作に慣れるのはもちろん、それぞれの使い方が確立したように感じます。特に、ノートの使い方についてはワイヤレスのキーボードを使用し講義中に同時入力する生徒や、録音データで復習しながら放課後にまとめる生徒などさまざまです。

一方で、板書等についてはこれまでと同様に手書きでまとめる生徒もおりますが、その画像を教科書に保存している生徒もおります。また、補助プリントや関連資料なども画像として保存する生徒が多く、領域や項目ごとにフォルダに分けて管理しているようです。小学校・中学校とデジタル機器の活用慣れてきたことも大きいでしょうし、これだけスマートフォンやタブレットが身近になっていることも相まって**便利な機能を使いこなし、効率よく学習している状況が見受けられます。**

ただし、**導入当初に心配していた学習目的外の使用なども少数ではありますが常に報告を受けており、継続的な指導や投げかけが欠かせない状況ではあります。**

さらに、もう一つの懸念材料であった学力の定着については、過年度生との大きな差は感じませんが、ウェブサイトからの誤った情報やいわゆるコピー等によるレポート提出等も数件発生しております。このような問題は、デジタル教科書を使用しているかどうかにかかわらず起こり得ることはありますが、タブレットでインターネットに接続できることが原因の一つであることは否めません。

総じて、**デジタル教科書が現代の生徒たちの持つポテンシャルを引き出すきっかけになっていることは間違いなく、今後もあらゆる場面の利活用が期待できるのではないかと**いうのが本校の見解です。

教員の利用における課題について

生徒導入前の準備期間を含めると、教員は4年間デジタル教科書を使用しています。今ではモニター接続やミラーリング、課題配信やテス

ト作成に加え、動画編集・配信など、デジタル機器に関する知識・技術ともに格段に上達したことは言うまでもありません。本当に柔軟に対応してくれていると感じています。臨時休校やオンライン授業などコロナ禍での不測の事態にも迅速な対応ができたことも感謝しかありません。これまでも述べてきたように、導入当初は試行錯誤の連続で、多忙な業務に加えての新しい知識・技術に抵抗感も多く、どうなることか心配した時期もありました。しかし、急速に変化する時代に対応を迫られていることも踏まえて、学校全体で半ば強引にデジタル教科書の導入を推し進めたことが、結果として今の状況につながったと感じています。

今後は、マニュアルや指導体制を整備し、新任教員向けの教員養成プログラムの構築に取り組んでいかねばなりません。また、新型コロナウイルスの状況が収束すれば、全国の先進的な事例の視察や、研修・会議への積極的な参加など、常に教員の資質向上に向けた取り組みも検討しているところです。

終わりに

この連載も今回で最後となりました。本校の実情をただご紹介しただけで、お役に立てたかどうかは甚だ疑問ですが、何かしらの参考にしていただければ幸いです。そして、お読みいただいている皆様からは多くお電話や問い合わせをいただきました。この場を借りてお礼申し上げます。願わくば、学校や地域の枠を越えて、看護師を志してくれた大切な生徒たちのために今後ともさまざまな情報交換ができれば幸いです。どうぞ、遠慮なくお声かけください。どうもありがとうございました。



東奔西走記バックナンバーが「デジタル ナーシング・グラフィカ」WEBサイトでご覧いただけます！



- ・デジタル ナーシング・グラフィカ導入までの道のり
- ・デジタル教科書のメリット・デメリット
- ・デジタル教科書導入による変化
- ・デジタル教科書導入前後の問題点
- ・臨時休校期間中のデジタル教科書活用
- ・生徒や保護者からのご意見 など

WEBサイトでは他にも、デジタル教科書・タブレットの活用方法など紹介。ICT教育の導入検討から採用後のサポートまで役立ちます！

デジタルナーシンググラフィカ

検索

お問い合わせ

株式会社 **メディカ出版** 基礎教育営業課
〒532-8588 大阪市淀川区宮原3-4-30 ニッセイ新大阪ビル16F

TEL : 06-6398-5039
Mail : info-dng@medica.co.jp